

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	I 理念に基づく運営 1. 理念の共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホームの開設時に、すでに作られていたので、地域密着型サービスになっているとは言えないかもしれない	○	現在働いている職員全員で考えていきたい
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	食べる楽しみ、働く楽しみ、遊ぶ楽しみを、提供できるよう、また、職員も一緒に楽しめるよう地域から情報を集めている		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	玄関やリビングの壁に掲示したり利用者と職員で作った作品を持っている地域に出かけてバザーを行ったりして		
	2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	隣近所にはあまり民家がなく、地主さんの家があるくらいですが、行事の時の手作り料理を持って行き食べて頂いたりしている		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老入会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地区の定例会に毎月参加している、それに職員は運動会の選手名簿にもあげられたりしている	○	今後は利用者も一緒に参加できる機会を作りたい
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	現在は取り組んでいない	○	運営推進会議が始まりこれからのホームの果たせる役割などを委員の皆さんと一緒に考えていきたいと思っています

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいる項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価の時点では地域との交流ができていなかったが、今年の1月から毎月地区の定例会に参加し、公民館掃除の当番や地区の清掃にも参加できるようになった		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は今年どから始めてまだ2回目でありこれから活かせるように取り組んでいきたい	○	「このホームが地域にとって何ができるかを、きちんとした形にしておくべきではないか」、との意見を頂きましたので、この事にも真剣に取り組んでいきたいとおもいます
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	連携はあまり取れていない	○	こちらから出かけていくことできっかけを作っていきたい
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	学ぶ機会がなく、活用できるよう支援もできていない	○	まず、学ぶ機会を作っていきたい
11	○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会などで学ぶ機会を持ち職員同士で虐待防止に努めている	○	御家族の方たちにも今後話せる機会をもちたい
	4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な説明を行い、御家族の意見を聞きながら、理解・納得を図っている		

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者からの意見は十分に聞き、運営に反映させている		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	殆んど面会にこられた時に報告している、また健康状態や暮らしぶりについては、異常が見られた時点で電話で連絡をとっている	○	これからは毎月定期的に報告を紙面で行うよう取り組んでいきたい
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	職員には伝えているが、外部者には表せていない	○	今後は運営推進会議のなかで検討し、運営に反映させていきたい
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月全体会を開き、その月の反省や次に向けての計画を全員で話し合い、一人ひとりの意見や提案を運営に反映させている		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	病院受診の時など御家族が付き添えない状況になった場合とくに、職員を確保するための話し合いを行い、勤務調整に努めている		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ユニット間での職員の異動を行うこともあるため、その時の利用者へのダメージを防ぐ配慮として、日常的にユニットを行き来している		
	5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修計画を作成はしていないが、県や市からの研修案内があった時に、段階に応じて、また職員一人ひとりに必要と思われる研修を受ける機会を確保している	○	これからは職員ごとの研修計画を作成に取り組んでいきたい

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	佐世保市グループホーム連絡協議会のなかで、ブロックごとにそれぞれ定期的に研修会が行われているためそれに参加し、情報交換や事例検討、勉強会などでサービスの向上に取り組んでいる	○	現在、管理者の参加しかできていないが、今後は職員の参加にも積極的に取り組んでいきたい
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	一日の勤務時間の中で、休憩時少しでも一人になれる時間をつくれるように取り組んでいるのと、年に2回位全員で食事会やボーリング大会など行っている		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員個々の努力や実績、勤務状況を把握したうえで各委員会の担当やリーダーを委任し、各自が責任持って働けるようにつとめている		
	Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談から利用に至るまで、本人と面会の機会を作り、本人の要望や困っていることをできる限り受け止める努力をしている		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	御家族についても、利用者同様求めていることなどを十分に聴く機会をつくり、受け止める努力をしている		
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	腰痛のため週一回電気治療に行きたいとの要望があり通院に付き添ったり、御家族の要望で利用者を美容院に連れて行ったりして対応につとめている		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	御家族の面会を頻繁にお願いしたり、職員が傍でコミュニケーションを密に取ったりしながら、馴染めるよう工夫している		

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	手芸の上手な利用者がおられ、材料を準備すると、いろんなものをとても器用に作られるので、職員のほうが、いつしか生徒になったりしていることもある		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	水分を普通の人のおよそ半分しかとらない利用者がおられ御家族に相談すると色々な種類のジュースを持ってきて頂いたり、また飲ませて頂いたりもしている		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人の日常生活の様子を知って頂き、本人にとって今何が必要かを御家族と一緒に話し合いながら支援することでより良い関係を保っている		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入所前お友達だった方や親戚の方たちの面会を快く受け入れ、関係が途切れないよう支援に努めている		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	家事においては、洗濯物をみんなでたたんだり、もやしの根きりは、手先の器用な人達にして頂いたりしながら、お互いがそれぞれできることを分担し、助け合い、支え合えるように努めている		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	別の施設に移られたりされた方でも、訪問して来られたりまた、こちらからも訪問したりして関係を保っている		

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の希望や意向の把握に努めているが、困難な場合は、御家族と職員で本人本位に検討している		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に御家族と十分に話し合い、生活歴、生活環境などの把握に努めている。また入所後には本人さんとのコミュニケーションを密に取るよう心がけている		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎日一人ひとりの一日の過ごし方や、現状を記録し総合的に把握するように努めている		
	2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人の要望を取り入れたり、御家族、かかりつけ医の意見など取り入れて介護計画を作成している		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状況に応じて、見直し以前でも、現状に即した新たな介護計画を作成している		
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の個別記録や、情報を介護計画の見直しに活かしている		

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいる項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、馴染み関係を大切にしながら事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の娘さんが遠くから来られたため、お部屋にもうひとつベッドを準備し、二泊され久しぶりに一緒にすごして頂き大変喜ばれました		
	4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアによるバンド演奏や紙芝居、消防署の方に来て頂いての避難訓練など地域資源との協働により支援している		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	御家族の要望で美容院に連れて行ってほしいとのことで、車椅子のかたでしたが、無事パーマをかけることができました		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に地域包括支援センターの職員が参加するようになり、これをきっかけに周辺情報や支援に関する情報交換、協力関係を築いている		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している	事業所の協力医の他、専門医への受診が必要であれば、御家族、協力医と相談のうえ、適切な医療を受けられるよう支援している		
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	入所時、御家族が持ってこられた情報を協力医に提供し、お薬の処方や経過を診ていただいている。現在は専門医への受診はしていない	○	これからは、御家族と相談しながら要望があれば受診支援も行っていきたい
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職はいないが、協力医がすぐ近くにおられるため、気軽に相談したり、健康管理もして頂き、また休日や夜間の緊急時の対応もして頂いている		

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院した場合は面会に行ったり、担当の先生とも密に情報交換をし、早期退院できるよう努めている		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	介護が困難だったり、一度入院された方の御家族には、重度化した場合のことをお話しましたが、具体的にどこの病院とか、どこの施設とかの話し合いはしていない状況です	○	できるだけ早く話し合いの機会を作りたいと思います
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	本人や御家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携を取り、安心して納得した最期を迎えられるよう取り組んでいる。急変した場合は、すぐ対応して頂けるよう医療機関とも密に連携を図り、対応している		
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	新しい住まいでも、これまでの暮らしの継続が損なわれないように、これまでの生活環境、支援の内容、ち注意が必要な点について情報提供し、きめ細かな連携を心がけている		
	IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	全体会やミーティングのときに、職員の意識向上を図るとともに、日々の関わり方を点検し、利用者の誇りやプライバシーを損ねない対応の徹底を図っている		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者に声掛けをかけ、意思表示が困難な方には表情を読み取ったり、希望を言える人には本人に決めてもらったりしている。特に外出時の洋服とか、献立を作る時などに決めて頂いている		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	午前と午後の体操はできるだけ全員でするように決めているが、部屋にこもる人や、眠たいと言って参加されない方などおられますが、強制はしてません		

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいる項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	個々の生活習慣に合わせた支援をし、行事のときだけではなく、日頃から化粧やおしゃれを楽しめるよう取り組んでいる。ホームでカットや毛染めも行っているが、本人や御家族の希望があるときは、理容、美容院への付き添いも支援している		
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者には、調理の下ごしらえや、テーブル拭き、お茶の準備、食後の後片付けなど手伝って頂きながら、職員も一緒に食事を楽しむようにしている。また好き嫌いのある方には、代替職を準備したり、きざみ食にしたりして、安全な食事の提供にも心がけている		
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	おやつは、同じものを提供しているが、本人の希望があれば、好きな物を購入できるようしえんしている。現在お酒を飲まれる方はいませんが、たばこは、職員の管理のもとで、吸える態勢を取っている		
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	おむつは、昼間使用しないようにし、布パンツに尿とりパットを当て、時間をみながら誘導し、トイレでの排泄ができるように支援している		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は、一人で入れる人は遅い時間でもいいですがほとんどの方が、介助の必要があるため、入浴担当の職員がいる時間帯に行っている。回数はある程度増やすこともできる		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	昼間は、できるだけ離床に心がけある程度の活動を促し、夜間安眠ができるよう支援している。どうしても眠れない方は、かかりつけの医師に相談しお薬の処方などでの対応をしている		
	(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの能力や好みに合わせた支援を、職員全員が把握し提供している		

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理はすべて事務の担当者が行っているが、外出時には、本人からの要望があれば持っていていただくように支援している		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	本人の希望時はもちろん、利用者の状態をみながら外出を支援している。季節ごとの花を楽しんだり、ホームの庭に育てている野菜を見に行ったりは、収穫できる日を楽しみに毎日過ごしています		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	年に2回位御家族も誘って、お弁当を作りマイクロバスを貸し切って全員で出かけています。今年の6月には、西海橋の下を通ってハウステンボスの近くまで、1時間近いクルージングを楽しみました		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話のできる人には、御家族との会話ができるよう支援し、手紙のやり取りは、文章を書ける人がおられないため、年賀状などみんなで一緒に作ってだしています		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	御家族や信仰仲間、友人など、どなたでも気軽に面会して頂き、本人の部屋でゆっくり過ごして頂いている		
	(4) 安心と安全を支える支援			
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎日の申し送りや、全体会などで具体的な行為をあげ身体拘束をしないよう確認しあっている		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員間の申し送りで利用者の状態を把握し、外出されそうな場合など、特に見守りに留意しながら、さりげない介護で鍵をかけないケアに取り組んでいる		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	昼間は常に職員が見守り、トイレ誘導においては、職員が察知し、それとなく付き添い支援している。夜間は、巡回を1時間ごとに行い、また居室の様子を確認できる場所で業務に就いている		

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者の状態に合わせ、裁縫箱、はさみ、軟膏など持って頂き、職員が確認を行っている。洗濯洗剤などは決まった場所に置くようにしているが、ハンドソープ、消毒液は常時洗面台に置き状況に応じた管理をしている		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	緊急時の事故の場合の対応は、消防署に依頼し職員全員が救命救急法の講習会を受講したり、また事故を未然に防ぐためには、ヒヤリハットを記録し、事故原因を検討し、予防に努めている		
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救命救急法の研修会をの中で行い、職員全員が受講できるよう取り組んでいる	○	これからは、定期的に講習会を開いて、地域の方々にも呼びかけて一緒に受講できたらと思っています
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけしている	消防署の協力を得ての避難訓練や、職員と利用者だけの訓練など、色々な想定のもとおこなっている		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	病気のためもあり、トイレに頻繁に行かれる車椅子使用の利用者がおられ、御家族は転倒のことをひどく心配されておられるため、夜間時の危険性が高く、話し合い、センサーマットの使用で対応することとなった		
	(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	糖尿病の患者さんがおられるが、御家族の面会時にお菓子など持ってこられ、残りをお部屋に置いて帰られたりしてましたので、職員の考えを伝え、対応のしかたを、御家族に理解して頂くことができた		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員にもその都度伝えその後の経過を随時記録し、症状によっては、かかり付け医に上申している		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便チェック表を付け、状態把握し、飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んだり、かかり付け医に相談したりして取り組んでいる		

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、職員が付き添いながら、行っている。また、舌のケアも、たんブラシをつかって行い、清潔保持に努めている。自力のできるかたは、確認するように対応している		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べる量は、一人ひとりの習慣や体力など考えながら、また体調を考慮し対応している		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	毎食後、使ったおはし、フキンの熱湯消毒をし、外に干したり、夜には漂白剤を使ってまな板、フキンの消毒をしている。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	定期的に冷蔵庫内の掃除や、シンク周りの掃除をし食材も買いだめをしないように、取り組んでいる		
	2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり			
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りには、お花を植えたり椅子を置いたりして、訪問者が自由に座れたりできるよう工夫している		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングには写真を掲示したり、花を飾ったりして季節を感じられるよう工夫している		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファを置き好きなところに座ったり、玄関に置いてある椅子で、職員とゆっくり過ごしたりできるように工夫している		
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	仏壇を置いたりテレビや御家族の写真、自分の作品などを置いている		

番号	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	必要に応じて換気扇を回したり、室内にそれぞれ温度計を付けてあり、状況に応じてこまめに管理している		
	(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりが付けてあり、トイレやお風呂の時も、できる限り自分でできるよう工夫している		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	お部屋のわからない方のため、その方のためだけでなく、全員の部屋に表札を付けたり、大きな字で書いたりして工夫している		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物の周りには、野菜畑があり苗を植えたり、収穫したりして楽しみ、散歩もできるスペースがあり楽しんでいる		

番号	項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所に○印をつける)
v サービスの成果に関する項目		
88	○職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	《 ○ 》①ほぼ全ての利用者の 《 》②利用者の2／3くらいの 《 》③利用者の1／3くらいの 《 》④ほとんど掴んでいない
90	○利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	《 ○ 》①毎日ある 《 》②数日に1回程度ある 《 》③たまにある 《 》④ほとんどない
91	○利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	《 ○ 》①ほぼ全ての利用者が 《 》②利用者の2／3くらいが 《 》③利用者の1／3くらいが 《 》④ほとんどいない
92	○利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	《 ○ 》①ほぼ全ての利用者が 《 》②利用者の2／3くらいが 《 》③利用者の1／3くらいが 《 》④ほとんどいない
93	○利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	《 》①ほぼ全ての利用者が 《 》②利用者の2／3くらいが 《 ○ 》③利用者の1／3くらいが 《 》④ほとんどいない
94	○利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	《 ○ 》①ほぼ全ての利用者が 《 》②利用者の2／3くらいが 《 》③利用者の1／3くらいが 《 》④ほとんどいない

番号	項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
96	○利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	《 ○ 》①ほぼ全ての利用者が 《 》②利用者の2／3くらいが 《 》③利用者の1／3くらいが 《 》④ほとんどいない
95	○職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	《 ○ 》①ほぼ全ての家族と 《 》②家族の2／3くらいと 《 》③家族の1／3くらいと 《 》④ほとんどできていない
96	○通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	《 》①ほぼ毎日のように 《 ○ 》②数日に1回程度 《 》③たまに 《 》④ほとんどない
97	○運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	《 ○ 》①大いに増えている 《 》②少しずつ増えている 《 》③あまり増えていない 《 》④全くいない
98	○職員は、生き活きと働けている	《 ○ 》①ほぼ全ての職員が 《 》②職員の2／3くらいが 《 》③職員の1／3くらいが 《 》④ほとんどいない
99	○職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	《 ○ 》①ほぼ全ての利用者が 《 》②利用者の2／3くらいが 《 》③利用者の1／3くらいが 《 》④ほとんどいない
100	○職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	《 ○ 》①ほぼ全ての家族等が 《 》②家族等の2／3くらいが 《 》③家族等の1／3くらいが 《 》④ほとんどできていない